

福岡県知事及び県議会議員選挙データ集

…戦後（公選制）から最近まで

2018.08.24

公益社団法人福岡県自治体問題研究所編

- ・本資料は福岡県政データ集の一環として作成したものである。
- ・作成方法 データは選挙に関する新聞記事、選挙公報を中心としたものである。記事（マイクロフィルム、コピー）が読みにくい場合は、経歴・公約表に読み取り結果を示す。選挙結果は記事及び県選挙管理委員会編「選挙の記録」等で示す。
- ・県議会議員選挙結果は県選挙管理委員会編「選挙 25 年の記録」および「選挙の記録」各年版による。ただし、1947 年～1963 年の党派別得票数は上記資料をもとに当研究所で集計したものである。

目 次

		p
1.戦後公選制知事選挙と県議会選挙	2
2.知事選挙候補者の経歴と公約	5

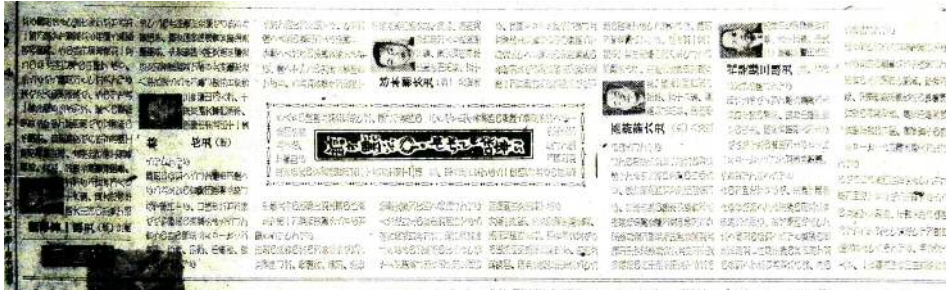
日本国憲法下における公選知事(備考)							Wikipediaの基本データに詳細情報を付加					県議会 政党別当選人員								
代	氏名	就任年月日	離任年月日	知事選挙 告示日	県選 挙日	投票日	得票順位	候補者名	得票(万票)											
							1	2	3	4	5									
1	杉本勝次	S22.04.12		3/15	4/10	1947.04.05	杉本57.6	竜野38.5	高橋8.6			自由5	民主14	社会19			諸派3	無所属32		
2		S30.04.25	4/3	4/10	1951.04.30		杉本73.6	剣木65.3	星野2.0			自由14	国民民主7	社会18	福岡県農連9		諸派8	無所属26		
3	土屋番鹿	S30.04.26	S34.04.22	3/29	4/3	1955.04.23	土屋73.2	う崎70.6				自由12	日本民主9	社会左16	社会右7	福岡県農連4	諸派2	無所属32		
4	鶴崎多一	S34.04.23		3/29	4/8	1959.04.23	う崎95.8	土屋71.0	河野(孔)3.1			自民31		社会33	福岡県農連3		諸派1	無所属18		
5		S42.04.22	3/23	4/2	1963.04.23		う崎85.8	奥丸72.7				自民28		社会29	民社5	公明3	県農連7	共産2	無所属12	
6	亀井光	S42.04.23		3/21	3/31	1967.04.15	亀井89.5	う崎89.1				自民24		社会26	民社7	公明5	県農連8	共産3	無所属13	
7				3/17	3/30	1971.04.11	亀井115.1	たがや87.5				自民32		社会23	民社6	公明5	県農連8	共産5	無所属7	
8				3/19	4/1	1975.04.13	亀井129.3	内田75.1				自民31		社会14	公明10	民社6	共産3		諸派12	無所属11
9		S58.04.22	3/14	3/27	1979.04.08		亀井135.0	つぼ沼68.2				自民30		社会19	公明9	民社5	共産3		諸派14	無所属9
10		S58.04.23		3/16	3/29	1983.04.10	奥田122.1	亀井117.1				自民36		社会16	公明8	民社4	共産2		諸派11	無所属12
11	奥田八二			3/23	4/3	1987.04.12	奥田126.3	田中113.5				自民31		社会18	公明9	共産5	民社3		諸派11	無所属13
12		H07.04.22	3/18	3/29	1991.04.07		奥田96.9	重富53.7	山崎36.1			自民33		社会20	公明7	民社3	共産3		諸派7	無所属16
13		H07.04.23		3/23	3/31	1995.04.09	麻生77.8	重富52.6	平川13.2	中村7.1	徳川2.7	自民35	新進1	社会17	公明7	共産2		諸派7	無所属22	
14				3/25	4/2	1999.04.11	麻生152.9	政時18.6	中村12.3	徳川5.5		自民39	民主3	公明10	社民6	共産5		諸派7	無所属21	
15	麻生源			3/27	4/4	2003.04.13	麻生116.2	今里71.0				自民45	民主5	公明11	共産4	社民3		諸派7	無所属13	
16		H23.04.22	3/22	3/30	2007.04.08		麻生112.1	稲富66.6	平野15.6			自民40	民主12	公明11	共産1	社民1		諸派4	無所属19	
17	小川洋	H23.04.23		3/24	4/1	2011.04.10	小川112.8	田村47.4				自民41	民主20	公明11					諸派3	無所属11
18				3/26	4/3	2015.04.12	小川126.0	後藤28.4				自民42	民主17	公明11			共産2		諸派2	無所属12

福岡県議会議員選挙党派別得票数		福岡県選挙管理委員会編『選挙25年の記録』のデータを基礎に研究所で集計したもの。 集計過程は別紙シート(シート名は選挙実施年)による。							
党派／暦年	1947	1951	1955	1959	1963				
日本自由党	68,616	自由党	260,400	自由党	215,184	自由民主党	584,624	自由民主党	473,393
民主党	215,029	国民々々党	107,748	日本民主党	132,147	日本社会党	621,554	日本社会党	513,759
日本社会党	341,968	日本社会党	320,362	日本社会党左派	263,959	日本共産党	11,157	民主社会党	116,138
日本共産党	5,177	日本共産党	9,843	日本社会党右派	165,406	農村連盟	72,400	日本共産党	56,611
		社会民主党	2,013	日本共産党	5,625			公明政治連盟	55,957
		労働者民主党	561	農村連盟	67,192			農民政治連盟	97,651
		日本農民党	3,370						
		福岡県農村連盟	128,969						
諸派	49,102	諸派	124,012	諸派	34,103	諸派	14,451	諸派	0
無所属	486,325	無所属	481,056	無所属	566,346	無所属	400,606	無所属	303,548
合計	1,166,217	合計	1,438,334	合計	1,449,962	合計	1,704,792	合計	1,617,057

県議会議員選挙党派別得票数		資料：福岡県選挙管理委員会編『選挙の記録』各年版										* 党派の順序は、長期比較のため、1967年を基準としている その後成立した党派は成立年順である。		
党派／暦年	略称	1967*	1971	1975	1979	1983	1987	1991	1995	1999	2003	2007	2011	2015
自民民主党	自民	467,169	580,561	532,431	476,905	775,304	727,751	379,705	283,774	550,574	637,586	593,619	513,296	518,870
日本社会党	社会	420,432	424,552	412,806	336,954	446,522	454,275	235,523	190,578					
民主社会党	民社	91,560	138,354	105,220	109,339	98,625	72,438	32,060						
公明党	公明	96,070	114,285	193,080	143,136	146,238	154,303	74,832	92,753	154,824	198,054	204,193	158,102	173,174
日本共産党	共産	118,649	206,261	199,971	98,103	244,067	206,243	78,876	68,730	131,898	147,899	108,686	55,548	93,640
新自由クラブ	自ク													
社会民主連合	社民				4834									
サラリーマン新党	サラ新						5,305							
新進党	新進							9,333						
社会民主党	社民								121,445	87,146	29,075	10,459	3,526	
民主党	民主								71,274	96,850	220,841	240,954	197,095	
みんなの党	みんな											47,145		
維新の党	維新												38,116	
諸派		78,942	163,285	197,196	132,070	284,169	195,265	37,782	48,376	33,427	70,560	17,201	25,914	14,570
無所属		305,039	224,138	226,103	264,073	348,036	376,730	346,910	379,480	560,620	366,056	348,337	268,434	249,129
合計		1,577,861	1,850,436	1,866,807	1,565,414	2,342,962	2,192,311	1,185,688	1,073,025	1,624,062	1,604,151	1,521,953	1,319,852	1,288,120
誤差Check		0	1,000	0	0	-1	-1	0	-1	0	0	-1	0	0

1947年（昭和22年）知事選挙候補者の経歴と公約

19470320N（Nは西日本新聞、以下略）



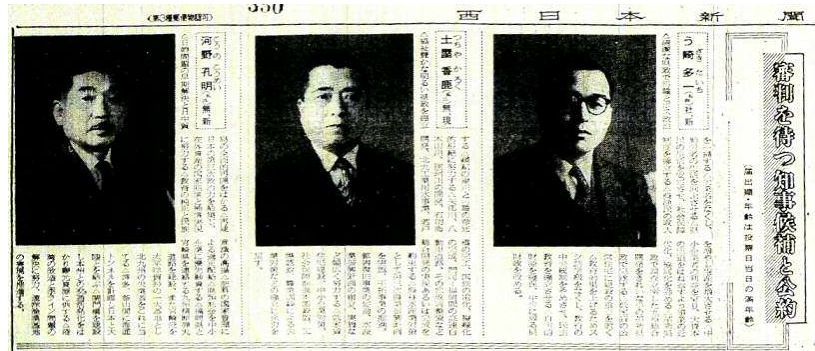
候補者	経歴	公約（記事を転載）	備考
龍野喜一郎 りゅうのきいちろう （無）	三潞郡大川町の出身で 46 歳、東大法科卒ただちに官界に入り、島根、宮城、兵庫各県警察部長、鹿児島県知事（*）、九州地方商工局長を歴任、自進両党から推され商工局長をやめて無所属から立候補の一番名乗りをあげた	素人の理論家か玄人の実際家か、そのいずれをとるか と県民にうたっている。この点九州の行政の中核であり、渉外関係、その他行政事務は一党一派に偏せず 豊富なる経験と高邁なる識見をもつ実力でなければなら ない。食料、石炭、住宅、引揚者、教育その他の解決をスロー ガンにかかげ県民の総意をもととして必ず 実行する、口約束だけに終わるこれまでの官僚的悪弊を排し 県民の公ぼくとして懸命に働くといっている。	*1945.10 就任、官 選知事
林功 はやしいさお （無）	前橋市生まれ 41 歳東京商大専門部卒、三菱鉱山？に入社 18 年石炭とともに暮し現在日炭若松支店査業課長であり九州産別会議議長、全炭労組九州支部協議会支部長をつとめ九州産別会議から推され立候補した、	労働者、農民、勤労市民の利益のために身命をかけて たたかうといっている。まず第一に経済復興を取り上げ生産九州の原動力は本県の石炭であり、これは各産 業に直結する。働くすべての代表を参加させ働く人た ちの復興会議をもち働く人達の意思による復興計画を たて強力に実現する。つぎにヤミを撲滅し地方民主化 を断行しうるものは団結の力をもつ労働者階級以外に ない。県行政は素人だが以上の施策は断行すると労働 大衆に力強く公約している。	04.04 立 候補辞退
杉本勝次 すぎもとかつじ（社）	久留米市両替町出身、53 歳、東大政治科卒教育畑に入り西南学院経済専門学校長、福高、福岡女専講師、県社会教育主事などをつとめ、現在西南学院財団理事、西南女学院財団理事長、昨春社会党から代議士当選、社会党県連副会長、同福岡市支部長である	第一に官僚行政打破をかかげ、各界代表からなる県民生安定委員会を作り県民生活擁護の立案および実行の 中心機関とする。府県ブロック制を打破し九州経済の 自主性を確立するため県民生安定委員会は九州民生安 定委員会に県経済復興会議は九州経済復興会議に発展 強化させる、日本再建の根本は教育にあり、教育県福 岡は文化的使命においても西日本の文化の中心として の構想と企画を持たねばならぬとしている。	

<p>高橋権 六 たかは しごん ろく (無)</p>	<p>八女郡福島町出身明治学院 卒、58歳、農業、県議3回 当選の経歴を持ち、正義を 表看板に独立独歩で理想選 挙の道へまっしぐらに突き 進んでいる</p>	<p>知事は一党一派の知事であってはならぬ、県民の公ぼ くでなければならぬ、私の無所属は日和見主義の無所 属ではなく、県民の公ぼくとしての無所属だと叫び、 また学問があっても身分が高くても正義の信念なきも のに何ができるか、正義で県政をさばいてゆくという。 スローガンとしては植林奨励、かんがい水の増加によ るカンバツの防止、県外の食料移入による食料事情の 解決、復員引揚者救済などのかかげて、熱と意気によ る実行を期している。</p>	
<p>許斐親 三郎 このみ しんさ ぶろう (社、 非公 認)</p>	<p>嘉穂郡頼田村出身、55歳、 明大法科中退後農業界に入 り、一方農民組合田川郡連 合会副会長をもつとめてい る、社会党とのいざごは あったが、ついに独自の立 場で立候補。</p>	<p>下情を知らぬ知事に何ができるかと主張するところか ら自ら黄門知事をもって任じている。スローガンとし ても、他県米移入による食糧事情の打開、警察官その 他官吏の待遇改善、戦災引揚者救済、生鮮野菜出荷方 法の再検討、物資の不正配給の絶滅、宗教による世相 の善導など約束している、言ったことは必ず実行する と公約している。</p>	<p>04.02 立 候補辞退</p>



候補者	経歴	19550329N	公約
土屋 香 鹿 つちやか ろく 48 無(民 自)新	東大卒、弁護士、元福岡 県警察部長、同総務部 長、前福岡県副知事		<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業に対する県税の軽減と金融の円滑化 ・保護農政の徹底 ・農業協同組合の育成強化 ・鉱害地復旧の促進 ・治山治水事業の推進 ・漁業の振興 ・失業者特に炭鉱労働者救済のための大規模な公共事業の実施 ・産業労務者住宅労働金庫、託児所など働く者のための福祉施設の整備強化 ・石炭鉱業の再建整備 ・今後5年間に住宅10万戸建設 ・母子寮、母子住宅、授産施設の増設整備と母子金庫の設立 ・体育及び文化施設の整備充実 ・戦争犠牲者の救済 ・県の総合開発計画の実施促進による鉱工農林、水産業の振興
鵜崎 多 一 うざき たいち 50 無(両 社農)新	東大卒、前県知事室長、 元経済審議庁審議官、現 国土開発審議会専門委員		<ul style="list-style-type: none"> ・県民生活安定のための対策—安くて住みよい住宅の建設、公庫住宅、産業労務者住宅預金の貸付、公共事業推進で失業者に仕事を、明るい母子施設の建設と貧困者援助、療養施設の拡充と在宅患者の援助。教育文化の振興。とくに県立文化会館の設置。 ・農林水産業振興対策—災害の防除と復旧、土地改良事業の推進。農民と直結する大試験場設置、農業協同組合の育成強化、農村婦人の地位向上、二、三男対策の推進。沿岸漁業への進出指導と援助。 ・鉱工業と商業の振興対策—産業道路建設と工業用水の確保、中小企業、地場産業育成、中国東南アジア貿易の促進。 ・県財政を豊かにし地方自治を確立する—県政を重点的計画的に運営して無駄をなくし、割のよい産業を興して財政力を豊かにする。中央集権への移動傾向を是正し地方自治確立に努力する。地方財政諸制度の改善に努力する。

1959 (昭和 34 年) 知事選候補者の経歴と公約 19590421N



候補者	経歴 19590329N	公約
<p>鶴崎多一 うざきた いち (54) 社・新</p>	<p>東大農卒、 国土開発審 議会専門委 員 (福岡県 知事室長)</p>	<p>△清潔な県政で汚職とボス政治を一掃する △失業者をなくし勤労者の生活を向上させる△県民の生活を安定 させ社会保障制度を確立する△農漁民の収入を増やし生産を増大 させる△中小企業者の利益を守り、大資本の圧迫をはね返すよう事 業の近代化協同化を進める△革新県政で調査立案した九州総合開 発をきれいな手の革新県政で実現する △低家賃の公営住宅に建設の重点を置く△教育効果を上げるため スシ詰め学級をなくし、教育の中央統制をやめさせ、民主教育を確 立させる△自主的財源を確保、中央に頼る県財政を改める</p>
<p>土屋香鹿 つちやか ろく (52)無・現</p>	<p>東大法卒、 知事、福岡 県 警 察 部 長、同総務 部長、同副 知事 当 1</p>	<p>△福祉豊かな明るい県政を確立する△綱紀の肅正と汚職の徹底的 根絶に努力する△矢部川、八木山川、那珂川の開発、有明海開発、 北九州工業用水事業、若戸橋の完工、国鉄の電化、複線化の完成、 門司ー福岡間的高速自動車道路、その他港湾整備など総合開発の重 視あるいは完成を約束する△農林水産業対策として第3次農業振 興計画を実施、干拓事業の推進、鉱害復旧事業の促進、水産業振興 計画の樹立、実施など幅広く努力する△低家賃住宅建設、中小企業 対策、社会保障推進本部設置、工場誘致、鉱業閉山？による失業対 策などの確立に全力を尽くす</p>
<p>河野孔明 こうのこ うめい (53)無・新</p>	<p>*ウィキペデ ィア (要約) : 1905~不詳、宮 崎県出身の右 翼活動家、各種 国会議員、首長 選挙に立候補。</p>	<p>△日韓問題の早期解決と日中貿易の全面的再開を図る△再建日本の第三次政治力を 結集し、在外資産の国家賠償と補償実現に努力する△教育の純正と民族意識の高揚 △肥料の国家管理による適正配給△県預託金を中小企業に優先融資する△福岡県と 宮崎県を連絡する九州横断弾丸道路を建設、また宮崎港を太平洋貿易の一大基地と し北九州の失業者をこれに当てる△博多、釜山間に海底トンネルを計画し日本と大 陸とを結ぶ△関門橋を建設し本州との交通活発化をはかり観光資源に供する△港湾 の改造と李ライン問題の解決に努力、遠洋漁業基地の実現を推進する。</p>

1963 (昭和 38 年) 知事選候補者の経歴と公約 19630416N



候補者	経歴	公約
鵜崎多一 うざきた いち 58 (社・現)	東大農学部卒、福島県農地部長、福岡地方経済安定局次長、経済安定本部分局次長、経済審議庁審議官、福岡県知事室長、福岡県知事当 1	産炭地に産業を起し失業と貧乏をなくす 農業振興のための土地と水を確保し畜産果樹の豊作貧乏をなくす 沿岸漁業対策と農林漁業の金融をよくし協同組合を育成 勤労者の職場を守り安全と福祉施設の強化 商工業者とくに零細企業に金融とサービスを厚くする 教育の機会均等化をはかり施設と育英制度の強化 交通地獄をなくし歩行者優先の道路をよくする 医者のない村をなくし県民の健康と文化施設をつくる 部落行政を確立し環境の改善と生活の向上をはかる 低家賃住宅の建設と宅地の造成に努力し農村、漁村にも文化的な住宅をつくる
鬼丸勝之 49 おにまる かつゆき (無・現)	東大法学部卒、山形県教育民生部長、福島県経済、労働各部長、建設省主席監察官、同省住宅局長、建設大臣官房長、鬼丸政治経済研究所長	関門海峡の架橋、高速道路の着工促進 筑後川などを総合開発し、水資源を確保する 田園と森林都市の開発で住宅難を解消する 産業の再開発を推進、雇用を増大し失業者をなくする 農林水産業の振興のため協同組合の体質改善と組織を強化し、流通機構を合理化する 戦争犠牲者、老人、母子家庭、身体障害者などに暖かい愛の手をさしのべる 文化財を保護し新しい文化を盛んにすることに努力し芸術大学の設置を促進する 知事の行政権に介入する県庁職員組合、偏向教育に狂奔する教員組合にたいして断固たる処置をもつてのぞむ

1967（昭和 42 年）知事選候補者の経歴と公約



候補者	経歴	公約
鵜崎多一 うぎきた いち 62(社・現)	東大農学部卒後、農林省 勤務。経済安定本部局次 長などを経て 28 年県知 事(杉本知事当時)室長。 34 年知事に初当選、38 年再選。京都出身。	選挙公報参照
亀井光か めいひか る 58(無・新)	東大法学部を卒業。労働 省労政局長から同次官 を経て、37 年参院県地 方区で当選。大蔵政務 次。自民党県連会長、大 蔵政務次官など歴任。知 事選出馬のため参院議 員辞任。北九州市小倉北 区出身。	選挙広報参照

私の公約 福岡県知事選立候補者

	う崎多一候補 (社会党 現)	亀井 光候補 (無所属 新)
県政の姿勢	①明るく清潔な県政②県民をみつめ、県民にこたえる県政。	①生活を明るく豊かにする県政②県政を一部特定のもののためではなく、県民全体に奉仕する公正なものにする。
中小企業対策	中小商工業者に資金と経営相談を①長期低利資金や無利恵資金のワクを広げる②信用保証協会の保証ワクを広げる③経営指導体制を強め企業の安定をはかる④中小企業会館を産て経営改善のセンターにする。	中小企業の力をつけ所得を向上させる①経営の合理化、技術の向上をすすめる、近代化と体質改善に努める②そのため必要な施設を整え資金の円滑化をはかる。
農林漁村対策	近代的農業の確立と青年が希望もてる農村づくり、漁業の近代化促進①試験場や種畜場の整備②常設の農科大学校をつくる③農業の機械化、集団化④近代化資金、後継者資金、生活改善資金をふやす⑤漁業の指導体制を強め近代化をはかる⑥福岡水産試験場を新築し近代漁業の研究センターにする	近代化をはかり、その生産性を向上させる①農林漁業の経済基盤を整備するとともに構造改善事業を強くすすめて経営を近代化する②とくに生産物の価格の安定と流通の改善につとめる。
産業基盤の整備	①油木ダムを建設し筑後川の開発をすすめる②九州縦貫道と関門架橋の早期実現③国道三号線にバイパスをつくる④豊前地帯に臨海工業地帯をつくる。	産業を繁栄させるため、地域ごとの再開発をする①県下のあらゆる産業がみのるよう各地域の特性に応じた産業を開発する②国と力を合わせて道路、港湾の整備、工業用水の確保などを力強くすすめる。
産炭地振興対策	産炭地をおとし住民の生活の安定①久保白ダム、中元寺ダムをつくり水資源を開発する②産炭地道路五本のうち残された二本を整備する③中核企業の導入④結核償日は42年度64億円、43年度80億円と事業を大きくする。	産炭地を復興し、住民の生活を安定させる①産炭地に公共投資をして産炭地を整える②結核の償還をすすめる、健全な中核企業を誘致して地元産業の育成をはかる。
福祉対策	▽県民の生活を守る①一世帯一住宅を実現する②物価値上げを抑えるため授業料や手数料など県で決める料金を上げないようにする③野菜や肉類の価格安定をはかる④通商、通学道路に隘橋や歩道をつくる▽生活困窮者や辺地、離島の生活向上①老人、母子世帯、心身障害者、生活に困った人のための生活保証をすすめる②辺地に婦人児童ホームをつくる③離島や山村の電化促進▽住みよい生活環境をつくる①北九州市中央緑地を公園にする②公営課をつくり、ばい塵や汚水対策をすすめる③河川の浄化を積極的にする▽働くものに福祉施設を①労働福祉会館を建設する②中小企業従業員のための單身住宅や寮をつくる▽同和地区の環境整備と生活の向上①特別低家賃住宅をふやす②特別融資などによって経済の自立をはかる③地区道路の改良、集会所、作業所をつくる。	▽住宅をふやし、公害や交通事故をなくし明るく住みよい県にする①道路、上下水道、小公園、交通安全施設などを整備する②同時によごれた空気と水をきれいにして生活環境をよくする③低家賃の公営住宅の大量建設につとめる▽婦人と青少年に希望と夢を与え、よい社会をつくる①働く婦人のために保育所、託児所をつくる②一般婦人のため婦人会館、働く勤労青少年ホームなどをつくって福祉の向上と社会活動をすすめる③農村婦人のための生活相談施設を設ける▽恵まれない県民に愛の手をさしのべる①母子家庭、心身障害者、生活困窮者、身寄りのない老人などのために福祉施設を整え必要な資金の援助、専門指導の充実に努める②失業者には就職あっ旋するなど恵まれない県民の生活安定をはかる▽物価の安定に努める①安い商品供給のため需給調整に努め市場組織や流通機構の改善をはかる。
教育文化対策	教育、文化の向上とスポーツ施設を①県立女子大、歯科大の整備②県立社会保育短大の拡充③老朽校舎の全面改装④教育費の父兄負担を減らす⑤県立博物館を建設する⑥スポーツ施設をつくる。	正しく明るい教育をすすめる①偏重教育を是正し、学力の向上と正しいしつけを行なう②教育施設を充実し、父兄の負担を軽くする③スポーツの振興と文化施設の充実をはかる。

昭和42年4月15日執行

福岡県知事選挙公報

福岡県選挙管理委員会



県知事候補
社会党公認

う崎多一

(62才)

明るい清潔な県政

わたくしは、四百万県民のあたがいご支援により、二期八年のあいだ知事をつとめました。わたくしは、保守県政時代の腐敗汚職を一掃しすべての県民が明るく豊かな暮らしができるように、県民のみなさんの声をじゆうぶんに聞き、それを県政に反映させて、明るい清潔な県政をすすめてきました。

県勢は飛躍的に発展

県民のご協力によつて、県の産業経済は大きく発展しました。日の当たらないところに目をあてる福祉行政は充実し、保育所や教育施設の整備は全国で二、三の水準に達し、道路の舗装は全国平均一八パーセントに対して三〇パーセントの舗装率を誇り、農家所得は全国第四位に向上し、のりの生産量も日本一になり、産炭地振興も基幹道路の建設で、企業誘致がすすんでいます。

安定した県の財政

県民所得の向上と県内企業の振興によつて、県財政は確立し、福祉県政の基盤がととのいました。保守県政時代の三百億円の予算は、今日では一千億円を越え、全国第五位となり、このうち国からの支出金は六〇パーセントを占め、国の補助金は北海道、東京、福岡の順で、全国三番目の額にのぼっています。

四百万県民にこたえる県政

これらの県勢の振興と県民生活の向上は、県民をみつめ県民にこたえる、ガラス張りの県政によつて実現されたものです。

県民の利益よりも一部特権階級の利益を優先し、利権と結ぶ県政ではできないことです。わたくしは、こんごも四百万県民のみなさんと手をとりあつて、県民の要望にこたえる明るい清潔な県政を前進させます。

わたくしの約束

一、県民生活優先の県政で、明るい暮らしよい福岡県をつくりたい。
一、基幹道路を整備し、ダムをつくり、港湾をととのえ、産業を発展させて豊かな福岡県を築きます。
一、産炭地に産業をおこし、中小企業者の生活の安定をはかり、失業と貧乏をなくします。
一、農業の振興のために、土地と水を確保し、稲作の近代化をすすめて、畜産、果樹の栽培を育成します。

一、漁業の近代化をすすめて、大型漁船の建造助成のり漁場の開拓、資源の確保で漁業の振興をはかりたい。
一、中小商工業者、とくに零細業者に金融とサービスを厚くし、経営改善、協同事業を積極的にすすめます。

一、貧しい人やへき地、離島など日のあたらぬところに目をあてる施策をすすめます。

一、勤労者の職場を確保し、労働条件の向上、安全と福祉の増進につとめます。

一、教育文化の向上をはかり、教育施設の拡充と父母負担の軽減、育英制度の強化をすすめます。

一、公害をなくし、県民生活に身近な道路の舗装、河川の浄化、公園の整備をすすめます。

一、交通事故をなくし、歩行者、児童の安全を守るため、交通安全施設をととのえます。

一、低家賃住宅を大量に建設し、農漁村にも文化住宅をつくり、一世帯一住宅を実現します。

一、物価値上げをおさえ、自主財源の拡充をはかり、寄付金、手数料など県民負担を軽くします。

一、平和憲法を守り、四百万県民にこたえる地方自治を確立します。

う崎多一の略歴

東京大学農学部卒業、農林省勤務、青山学院講師、企画院調査官、福島県農地部長、福岡地方経済安定局次長、経済安定本部生活物資局長、経済審議庁審議官、福岡県知事室長を歴任。昭和三十四年福岡県知事に当選、昭和三十八年福岡県知事に再選。現在、福岡県知事、日本赤十字社福岡県支部長、福岡県中小企業団体中央会会長。

昭和42年4月15日執行

昭和42年4月15日執行

福岡県知事選挙公報

福岡県選挙管理委員会



福岡県知事候補者
無所属
自民党・民社党・同盟
農政連共同推薦

亀井光

かめい ひかる
58才

ごあいさつ

四百万県民のみなさま
私はみなさま方や、自民党、民社党、農政連同盟、その他多数の団体からのつよいご要請と、おすすすめにより、福岡県知事選挙に立候補いたしました。

私は、年々料簡化している郷土を、九州の政治、経済、教育、文化の中心にふさわしい福岡県にたてなおします。

私は一党一派にかたよつた県政を正しくし、地方自治に特定のイデオロギーがもちこまれることを強く防ぎます。

私は県民のために、公正な、愛情ある県政を行つて、郷土福岡県を明るく豊かにします。

私は、このために、次の政策をお約束しみなさまのご理解とご支援をこころからおねがいたします。

私の公約

1 県民優先の県政をおこないます。
2 地域ごとに経済の開発をおこなひ、

3 産業をおこします。

4 農林漁業を近代化して、その繁栄をはかります。

5 中小企業を助成して、所得をふやします。

6 産炭地を振興して、住民の生活を安定させます。

7 一世帯一住宅を目ざし、低家賃住宅を大量に建てます。

8 公正な労働行政をすすすめ、働らく者の福祉の増進につとめます。

9 公害と交通事故をなくし、明るく住みよい県づくりをします。

10 婦人と青少年に希望をあたえ、よい社会をつくります。

11 恵まれない県民に愛の手をさしおこします。

12 物価の安定につとめ、消費者の利益をまもります。
正しく、明るい教育をすすすめます。

私の経歴

本籍 北九州市小倉区古船場町一二五

現住所 福岡市薬院二丁目三番四一号

学歴 大正一五年 小倉中学校四年修了

昭和四年 福岡高等学校文科卒業

昭和一〇年 東京帝国大学法学部卒業

昭和二六年 労働省労働基準局長

昭和三〇年 中央労働委員会事務局長

昭和三二年 労働省労働局長

昭和三五年 労働事務次官

昭和三七年 参議院議員

社会労働委員会理事

石炭対策特別委員会理事

議院運営委員会理事

昭和四一年 大蔵政務次官

財団法人全国勤労青少年福祉協会副会長

財団法人経営教育センター理事長

家族 妻 富子(五〇才) 長男 直(二六才、日本航空社員) 長女 保子(一九才、学生)

趣味 剣道(二段) 囲碁(四段) 将棋(二段)

(2)

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります。)

福岡は亀井氏勝つ



「ばんざい美濃部氏」のから野新共産党議員、選挙員氏、人門氏、在4本社党議員

東京は美濃部氏初の革新

東京市議会選挙の結果、美濃部氏初の革新が実現した。美濃部氏は、東京市議選で、革新系候補として出馬し、大勝した。これは、東京市議選史上初の革新の勝利である。美濃部氏は、革新系候補として出馬し、大勝した。これは、東京市議選史上初の革新の勝利である。

鶴崎氏に四千票差 再度の逆転で振り切る

福岡県議会選挙の結果、鶴崎氏が再度の逆転で振り切った。鶴崎氏は、福岡県議選で、再度の逆転で振り切った。鶴崎氏は、福岡県議選で、再度の逆転で振り切った。

知事開票結果
 福 岡 △ 鶴崎 多一 票
 八九一六四 鶴崎 多一 票

佐藤政権にシヨック

革新都知事 人海戦術上すべり
 佐藤政権にシヨック。革新都知事 人海戦術上すべり。佐藤政権にシヨック。革新都知事 人海戦術上すべり。

知事党派別当選者
 自由民主党 1人
 日本共産党 1人
 社会民主党 1人
 革新系 1人

飛鳥田氏再選

飛鳥田氏再選。飛鳥田氏は、福岡県議選で再選された。飛鳥田氏は、福岡県議選で再選された。



与野党、立ち場逆転

注目される中間派の動き



県政界地図塗り替わった。注目される中間派の動き。県政界地図塗り替わった。注目される中間派の動き。県政界地図塗り替わった。注目される中間派の動き。

ポスト争い激化

ポスト争い激化。ポスト争い激化。ポスト争い激化。ポスト争い激化。